

気仙沼管内の話題や宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

第2回 Rias ネットワークフェスティバル～地域づくり文化祭～を開催しました！

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

令和8年2月15日(日)に、みやぎ地域づくり団体協議会気仙沼・本吉支部(Rias ネットワーク)主催のイベント、「第2回 Rias ネットワークフェスティバル～地域づくり文化祭～」を開催しました。

イベントでは、Rias ネットワークに所属する6団体が、販売・展示・体験に関する出店を行い、220名の方が来場しました。また、先着100名様にオリジナルストラップをプレゼントするスタンプラリーの開催、ダンススクール SMILEY、松風コーラスによるパフォーマンスの披露、気仙沼市観光キャラクター「ホヤぼーや」、南三陸町 PR・合格祈願キャラクター「オクトパス君」の登場など盛りだくさんの内容でした。

来場者からは、「地域での取り組みを知ることができて良かった」などの声上がるなど、地域づくり活動について、多くの方に PR することができました。



会場の様子



松風コーラス



ホヤぼーや・オクトパス君

きらきら海辺の移住体験ツアーを開催しました！

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

令和8年2月20日(金)～22日(日)の3日間で女性の移住希望者を対象とした移住ツアーを気仙沼市と南三陸町で開催し、首都圏等に在住する12名の方が参加しました。

先輩移住者との交流では、地域おこし協力隊として活躍している方や、起業してワイナリーを営んでいる方などから、移住を決めた理由や、地域の魅力などを伺いました。参加者からは、実際の生活環境を中心に質問が挙がり、活発な情報交換が行われました。

さらに、空き家をリノベーションした方の取組を伺ったほか、地域のスーパーマーケットで買い物を行い、移住後の生活環境のイメージを確認しました。

今回ツアーに参加された皆さんとまた気仙沼・南三陸で会えることを楽しみにしながら、県としても引き続き交流人口の創出・移住へ繋がるよう取り組んでいきます。



気仙沼市移住・定住支援センターMINATO



ゲストハウスヒビノクラシ



南三陸ワイナリー

気仙沼・本吉圏域サイクルツーリズム研修会を開催しました！

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

(気仙沼土木事務所)

令和8年3月17日(火)に気仙沼・本吉圏域のサイクルツーリズム推進に向けた機運醸成を目的に気仙沼・本吉圏域サイクルツーリズム研修会を開催しました。サイクルツーリズムの先進地であるしまなみ海道を有する愛媛県の方や東北地方整備局仙台河川国道事務所の方など4名を講師としてお招きし、それぞれのサイクルツーリズムに関する取り組みや当圏域におけるサイクルツーリズム推進に向けて必要な取組について、ご講演いただきました。

参加者からは「各講師から実施事例を聞くことができ、大変参考になった」などの声をいただきました。

今後も当圏域におけるサイクルツーリズムの推進に向けて、取り組みを継続していきます。



講演の様子(仙台河川国道事務所)



講演の様子(愛媛県)

旬の甘さ「気仙沼いちご」をお楽しみください！

(気仙沼地方振興事務所農業振興部)

気仙沼市階上地区では、夏は涼しく冬は比較的温暖な気候を生かしたいちご栽培が昭和40年代から続いています。収穫されたいちごは気仙沼市場を中心に出荷され、「気仙沼いちご」として地元で親しまれています。三陸沿岸の安定した日照条件と冷涼な環境で栽培されたいちごは、甘みが強く、ほどよい酸味とのバランスが特徴です。

収穫は11月下旬から6月上旬まで続き、旬を迎えると市内の直売所に採れたてのいちごが並び、市内の飲食店等で季節限定の特別メニューが登場し、旬の味覚を求めて多くの人を訪れます。「気仙沼いちご」は完熟に近い状態で収穫されるため、地産地消ならではの新鮮な甘さを、ぜひ一度お楽しみください。



収穫されたいちご



ハウスに実るいちご

南三陸町の「入谷の里山活性化協議会」が県内初の快挙！

(気仙沼地方振興事務所農業振興部)

令和7年度の豊かなむらづくり全国表彰事業へ当所から推薦した南三陸町の「入谷の里山活性化協議会」が農林水産大臣賞を受賞しました。

また、農林水産業で優れた功績をあげた経営体をたたえる令和7年度農林水産祭において、「むらづくり部門」で天皇杯を受賞し、令和8年1月には皇居にて天皇皇后両陛下に拝謁され、今回の受賞に係る業績を紹介されました。

入谷地区では、地区の文化や農業・林業等のなりわいの継承、移住者を含む地域の若者と共に取り組む地域おこし、新たな雇用の創出など、農林業にとどまらない「むらづくり」に地域住民が一体となって取り組んでおり、「全国のモデル事例になり得る」と高く評価されました。

「むらづくり部門」での天皇杯の受賞は県内初の快挙であり、協議会は喜びに沸きました。協議会では現在ツアーや研修会等企画中ですのでぜひ足を運んでみてください。



協議会へ天皇杯授与



入谷地区の景観

～INUWASHI AGAIN～南三陸イヌワシ野生復帰プロジェクト始動！

(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

皆さんは南三陸町の町鳥は何かご存じでしょうか？正解は「イヌワシ」です。

イヌワシは、かつて南三陸の空を悠々と舞っていましたが、2015年（平成27年）頃を最後に、残念なことに南三陸の空から姿は確認できなくなっています。

かつての光景の復活を目指し、南三陸地域イヌワシ生息環境再生プロジェクト協議会（以下「協議会」）が設立されています。【※当所はオブザーバーとして協議会を支援しています】

同協議会では、10年にわたる地道な生息環境整備を続け、ついに動物園で生まれたイヌワシの幼鳥を放鳥する「日本初」の野生復帰プロジェクトに挑戦することとなりました。

そこで、2026年（令和8年）春から本格始動するプロジェクトの実施にあたってクラウドファンディングを実施することとなりましたので、御興味のある方はご支援お願いするとともに、SNSをフォローして、プロジェクトを見守っていきませんか？

SNSフォローして、プロジェクトを見守ってください！

Facebook
南三陸イヌワシ野生復帰プロジェクト

Instagram
inuwash_iagain

SNSフォロー用QRコード

プロジェクト
パンフレット

クラウドファンディング
手順

ウッドスタート宣言及びおもちゃ美術館の設立協定が締結！

(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

気仙沼市では、令和8年1月10日(土)に「ウッドスタート宣言」を行い、木のぬくもりを次代を担う子ども達に届ける木育に向けた取組を進めていくことを広く宣言しました。併せて、同市では、令和11年度に、県内初となる木育を目的とした体験型ミュージアムとして「おもちゃ美術館」を整備するため、木育の活動を推進している特定非営利活動法人「芸術と遊び創造協会」とのパートナーシップ連携協定を締結しました。

締結式終了後には、いち早く体験してもらうために、移動型おもちゃ美術館ともいえる「木育キャラバン in 気仙沼」が開催され、市内外から2日間で計200人の子ども達が参加しました。動物や魚の形をした積み木や木製の乗り物など、様々な木製おもちゃに触れ、五感で木の温もりを感じながら、親子で夢中になって遊んでいました。

当所としても、今回の気仙沼市のウッドスタート宣言により、盛り上がりを見せている地元「木育熱」をさらに盛り上げるべく、関係機関と連携の上で、支援を継続してまいります。



ウッドスタート宣言調印式



木育キャラバン木製



木製ガチャガチャ(県貸出)

気仙沼管内の治山工事2件が完成しました

(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

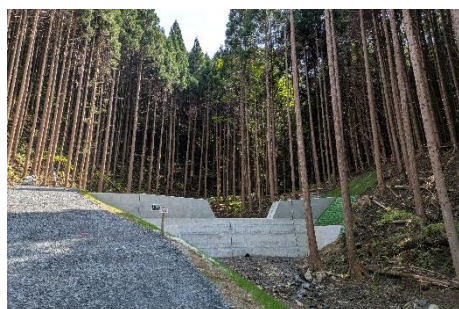
令和元年10月に発生した台風19号(令和元年東日本台風)は、気仙沼地方振興事務所管内でも猛威を振るい、この影響により複数地区の溪流で荒廃が生じました。そのうち次の2地区において、治山工事による予防対策が完了しました。

①地切沢予防治山工事 : 南三陸町歌津字払川地内 谷止工1基

②巳の口沢予防治山工事 : 気仙沼市上西側地内 谷止工2基

いずれの工事も、谷止と呼ばれる小型のダムを設置し、溪流の安定を図るもので、過年度に設置したものと併せて効果を発揮します。今回の完成により、各溪流の全体計画が完了しました。

今後も治山事業の実施を通じて山林の持つ防災機能が十分に発揮され、山地災害が未然に防止できるよう、取り組んでまいります。



地切沢予防治山工事



巳の口沢予防治山工事

化粧坂道路改良事業 完成式を開催しました（気仙沼土木事務所）

令和8年3月25日（水）に主要地方道気仙沼唐桑線化粧坂道路改良事業の完成式を行いました。

当該事業は、平成26年度から整備を進め、令和5年2月にバイパス区間の暫定供用を行いました。その後、バイパス区間の完成断面移行のための法面掘削、道路拡幅及び整備を行い、全ての工事が完了し完成式を迎えることとなりました。

当日は、気仙沼市長、県議会議員、地域の方々をはじめ、関係者のご臨席を賜り、テープカットを行うなど、化粧坂道路改良事業の完成をお祝いいただきました。

今回の道路整備により、市街地間の円滑な移動などの利便性や、緊急輸送路としての機能性の向上を図るとともに、地域の活性化にも大いに寄与することが期待されます。

事業を進めるに当たり、地域住民の皆様をはじめ、多くの関係者の方々にご理解とご協力をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。



完成写真（起点側）



テープカット



記念撮影状況

館沢砂防堰堤緊急改築工事が完成しました。（気仙沼土木事務所）

気仙沼市唐桑町館地内において、令和5年3月から着手していた、館沢砂防堰堤の改築工事が、令和8年3月に完成いたしました。

本工事は、施設の老朽化対策に加え、近年の激甚化する大雨や土石流に備えるために実施したものです。最新の基準に基づき、土砂だけでなく流木も受け止めることができるよう、機能を強化しました。

これにより、下流域の住宅密集地にお住まいの皆様の安全を確保するとともに、緊急輸送道路である「三陸道」を土砂災害から守ります。今回の施設の強化により、豪雨時などにおける地域の安全性がさらに向上しました。



着手前



完成



完成 全景

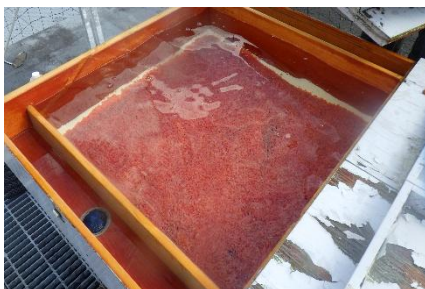
さけふ化場の有効活用（気仙沼地方振興事務所水産漁港部）

近年の環境変動の影響により、県内のさけふ化場で生産し放流されたしろさけが回帰する尾数が減少しており、さけふ化場で人工受精する卵の計画数量が達成できない状況が続いています。

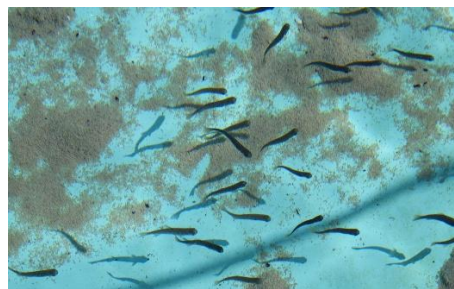
このような状況から、南三陸町にある小森さけふ化場と水尻さけふ化場では、遊休化した施設を有効活用するため、ギンザケ種苗の飼育試験を行っています。

令和7年7月に各ふ化場で県外の民間養殖業者が生産した種苗9千尾ずつを搬入し飼育を開始し、同年12月に約1万1千尾が町内の海面養殖業者へ出荷されました。また、同年12月及び令和8年1月には、県外で生産されたギンザケの発眼卵、14万粒が小森さけふ化場へ、5万粒が水尻さけふ化場へ搬入され、現在次の出荷に向けて飼育されています。

サーモンブームの影響により種苗が不足する状況もあり、この取組を通して地域の活性化へつながることが期待されます。



令和7年12月に搬入したギンザケ発眼卵



飼育試験中のギンザケ種苗(令和8年3月)

気仙沼漁港魚市場前地区陸閘が供用開始しました！

（気仙沼地方振興事務所水産漁港部）

宮城県が所管する一部の陸閘・水門では、津波注意報などの発表に伴い自動閉鎖するシステムを採用しており、令和8年3月30日（月）14時から気仙沼漁港魚市場前地区の陸閘7基が新たに供用開始となりました。

供用開始にあたり、3月17日（火）・18日（水）に魚市場関係者および近隣住民の方々を対象とした説明会を開催しました。

これからは津波注意報・津波警報・大津波警報・高潮警報が発表されますと、発表から5分後に回転灯と警告音での周知を行い、陸閘が自動閉鎖します。閉鎖後も乗越道路や避難階段から防潮堤の外（陸側）に出られますので、落ち着いて付近の高台などへ避難しましょう。



魚市場隣の陸閘と乗越道路



陸閘（閉鎖時）



説明会